

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和5年10月末現在
男 15,477人
女 15,343人
総人口 30,820人
世帯数 13,477世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式X (旧ツイッター)
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.136 ツヤアオカメムシ
(カメムシ科)

学名 *Glaucias subpunctatus*
WALKER

写真・文 小菅 次男

▼山で繁殖し平地に分散
春、成虫は越冬から覚めると山へ移動します。夏は山でスギやヒノキの実を吸って繁殖し、その結果状況がカメムシの発生量に影響します。秋、山で増えた成虫は9月下旬以降に、色々な方面へと分散します。照りに飛来したり、果樹などに大きな被害を与えたりするものもこの時期です。そして冬は、人里の樹木の葉裏などで越冬します。家の中で越冬する代表種はクサギカメム

▼ツヤアオカメムシとは
体長は16〜22mm、全体に鮮やかな緑色で油状のつやがあり、背幅は隆起し厚みがあります。本州、四国、九州、南洋諸島に分布します。食性の範囲が広く、ミカン、モモ、ナシなどの果樹に集まり、独特のくさい臭いを出し害虫です。カメムシ類は半翅目に属し、セミやタガメなどの口吻で養分や体液を吸う昆虫と同じ仲間です。

▼カメムシ注意報発令
今年8月、農林水産省が「カメムシ注意報」を全国21県に発令しました。本県は入っています。葉・埼玉・福島は含まれていません。今年気温の高いい日が続いたため、活動が活発化し産卵数が増えたと考えられます。今注意報が出ていない地域でも、今後大発生が心配されています。県では5月に「病害虫発

▼各地で大発生
今年も各地でカメムシ大発生のニュースが流れました。特に9月下旬から都市部で大発生したのが、このツヤアオカメムシです。南方系の本種は温暖化の影響で近年分布を北上させ、関東地方でも以前より多く見られるようになりました。

▼予防するには
カメムシは光に集まる習性があり、街灯や建物の照明に多く集まるので、家の出入り口や窓から侵入することがあります。予防するには、入りやすい所の明かりを消すことが大切です。産卵は梅雨の前後5月下旬から8月です。白や薄い色の洗濯物、白っぽい外壁に好んで産卵します。数十個の卵が集まると卵塊として産み落とすので、早い段階での対策が必要です。薬剤散布の必要はありませんが、薬剤の種類によっては天敵類に及ぼす影響も大きく、カイガラムシやハダニ類の大量発生を招く恐れがあるので要注意です。自然界のバランスをとるのには難しいですね!

生予報注意報」が出されています。
シですが、今年にはツヤアオカメムシが見られるかも知れません。

ちびっ子アート ふじ保育園



「たのしいハロウィン」
にいじま さち(6歳)



「お月様にはうさぎがいるんだよ」
やまぐち ことは(6歳)